

売れてます!

「未病」で元気に! HESTAホーム



GENKING.メッセージvol.3

日本の医療のレベルは本当に高い。でも、病気になる前に体の変化に気付くことができれば、もっと健康で長生きできますよね。未病を支援するサービスは、多忙を極める医療従事者の皆さんにも役に立つでしょう。住まいと医療をシームレスでつなぐHESTAヘルスケアは社会課題の解決に大きく貢献すると感じています。

HESTA大倉はこの仕組みを国内のお客様だけでなく、海外にも提供する計画を進めているそうです。ジャパン・クオリティの「未病」サービスが世界中の人たちの笑顔につながるんだと考えるだけで、何だかワクワクしてきます。

家で健康データ収集

- 睡眠時の呼吸・心拍・寝返り回数などのデータ
- 肌の水分や油分をCCDカメラでチェック
- 体重・骨量など13項目のデータ
- 血圧

睡眠時の呼吸や心拍、寝返りなどのデータ
 体重など13項目の身体データ
 体温、血中酸素など健康データ
 肌の水分などのデータ

HESTAヘルスケアは社会医療法人孝仁会と共同で開発し運用しています。健康データは年内をめどに電子カルテ内で確認できるようになります!



HESTA公式アンバサダー GENKING.さん

HESTAと連携し理想の医療目指す

社会医療法人孝仁会理事長 齋藤孝次氏



HESTA大倉と共同で、住宅と医療をつなぐ未病支援システムを開発しましたが、これは初めの一步。脳梗塞や心疾患、がんなどの早期発見・診断・治療に不可欠な「高度健診」のデータも連動し、健康寿命の延伸を実現します。さらにHESTA大倉とは青森大学発ベンチャーが取り組むアジュバントの開発も支援しています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、ワクチンの副反応に悩まれた方は多いと思います。このアジュバントを予防・治療用ワクチンで実用化できれば、世界中の患者様の苦しみを取り除くことができます。最終的にはがんの治療に応用し、企業と医療の力で健康で快適な暮らしを実現します。

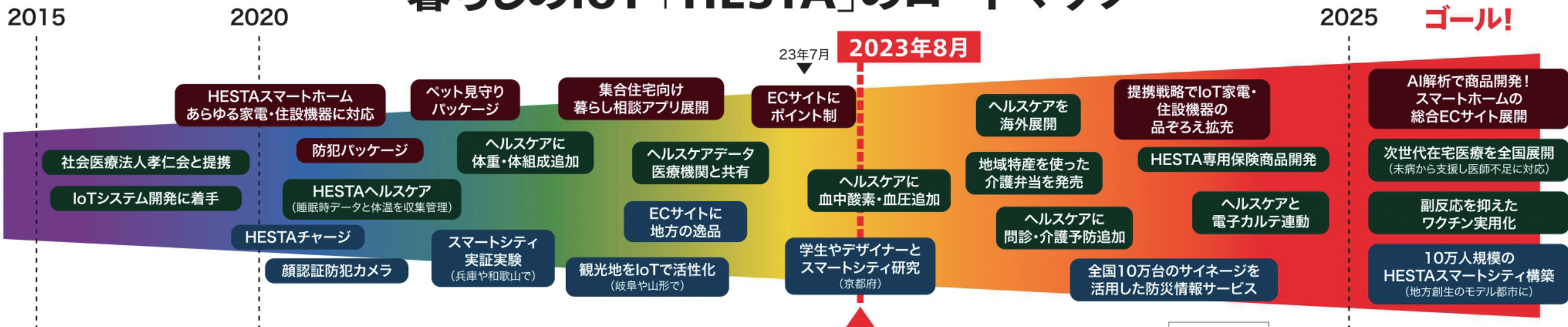
日本経済の強靱化は医薬・医療から

東京薬科大学薬学部客員教授 松本純氏



新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、パンデミック時にワクチンを自前で供給できない日本の医薬産業の現状を浮き彫りにしました。財務省の貿易統計を見れば22年の医薬品の貿易赤字額は4兆円を越す水準に膨らんでいます。新薬開発も含めた医薬品産業の研究開発力の強化は急務で、個別企業の自助努力だけでなく、国を挙げて企業の開発意欲を高める施策を推進する必要があります。一方、日本の医療システムは国際競争力が高い領域です。家庭と医療を結び未病を支援するIoTシステムもグローバルに需要が拡大するでしょう。医療・医薬関連産業の発展は日本経済再生に大きく寄与します。

暮らしのIoT「HESTA」のロードマップ



住まいから始める地/方/創/生

HESTA vol.43

導入企業拡大中!一緒にHESTAしませんか?



お問い合わせはHESTAソリューション事業部
フリーダイヤル 0120-49-5398 (9時~18時)



HESTA パートナー で検索



レストランを展開する株式会社ひらまつと提携し、顧客サービスの向上に努めています。



大倉が展開するHESTASmartホームは、ミキハウス子育て総研から子育てを応援するスマートホームプランとして認定されています。



「ガーデンタウンさつきスマートシティプロジェクト」は、一般社団法人日本子育て支援協会が主催する第4回「日本子育て支援大賞2023」を受賞しました。